

会 告

「鉄鋼及び原材料の原子吸光分析」講習会案内

主催 (社)日本鉄鋼協会

協賛 (社)日本分析化学会・関東支部, 近畿支部, 九州支部, 関西分析研究会

最近の原子吸光分析法の発展は目覚ましいものがあります。

日本鉄鋼協会・共同研究会・鉄鋼分析部会化学分析分科会では長年鉄鋼及び原材料分析法の研究開発を進めてきましたが、この度鉄鉱石に引き続き、鉄鋼の原子吸光分析法が JIS G1257 として今春制定されました。この機会に当協会ではこの間の研鑽の成果を含め、鉄鋼全般に亘る原子吸光分析法の解説書 (B 5, 約 300 頁) を作成し、分析技術講習会を開催することと致しました。新しい分析技術習得のため奮ってご参加下さるようご案内申し上げます。

1. 期日・会場

東京地区：昭和 50 年 11 月 12 日 (水)

日本交通協会大会議室 東京都千代田区丸の内 3-4・新国際ビル 9 階 (Tel. 03-216-4081)

[交通：国電・有楽町駅下車そごう百貨店すじ向え、地下鉄・丸の内線銀座下車、日比谷線・千代田線日比谷下車、有楽町線有楽町下車]

北九州地区：昭和 50 年 11 月 14 日 (金)

勤労者会館 4 階第 1, 2 会議室 北九州市八幡区中央 2 丁目 1-1 (Tel. 093-661-7334)

[交通：国鉄鹿児島本線八幡駅前より、西鉄中央町下車そば]

大阪地区：昭和 50 年 11 月 17 日 (月)

電子会館 9 階ホール 大阪市北区梅ヶ枝町 72 (Tel. 06-363-2331)

[交通：大阪駅より徒歩 10 分、御堂筋梅田新道交差点より東へ約 200m 北側]

2. テーマ・講師

- | | | | |
|----------------|---|-------------------------------|-----------------------------|
| 1) 9:50~10:00 | 挨拶 | 鉄鋼分析部会長 | |
| 2) 10:00~11:00 | 総論
(原理, 装置, 干涉, 標準化) | 新日本製鉄(株)製品技術研究所所長 | 池野 輝夫 |
| 3) 11:00~12:30 | 鉄鋼の分析法 (直接法) | (株)神戸製鋼所中央研究所
川崎製鉄(株)水島製鉄所 | 主任研究員 松村 哲夫
管理部副部長 遠藤 芳秀 |
| 12:30~13:30 | 一昼食休憩 | | |
| 4) 13:30~14:30 | 鉄鋼の分析法
(分離定量法, 間接定量法) | 住友金属工業(株)中央技術研究所 | 基礎研究室主任研究員 新見 敬古 |
| 5) 14:30~15:30 | 鉄鋼原材料の分析方法
(鉄鉱石, フェロアロイ, 耐火物, ダスト, 工場排水) | 日本鋼管(株)技術研究所 | 分析研究室係長 鈴木 好道 |
| 6) 15:30~16:30 | 原子吸光分析法の最近の動向
(装置上, 技術上から見た) | 新日本製鉄(株)基礎研究所 | 分析研究室課長研究員 大槻 孝 |
| 7) 16:30~17:00 | 質疑応答 | | |

3. 会 費 会員 6,500 円, 非会員 7,000 円 (いずれもテキスト代含む)

4. 定 員 東京, 大阪会場 150 名, 北九州会場 100 名

5. 申込締切日 昭和 50 年 10 月 31 日 (金)

6. 申込方法 所定の申込用紙 (N151 ページ) に必要事項をご記入のうえ代金を添えお申し込み下さい。代金は、現金書留、郵便振替 (東京 193 番, 通信欄に送金内訳を記入)、あるいは銀行振込みにてお払い込み下さい。入金次第参加券を送付いたします。

[取扱い銀行・第一勧業銀行本店, 東京銀行丸の内支店, 太陽神戸銀行東京支店]
東海銀行東京支店, 住友銀行東京支店, 三菱銀行大手町支店]

7. 申 込 先 〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階
(社)日本鉄鋼協会 編集課

浅田賞受賞者の決定

本会では表彰選考委員会において、昭和 50 年度浅田賞受賞者の選考を慎重に行ないました結果下記のとおり決定しましたのでお知らせいたします。

なお、表彰式は 10 月 1 日（水）北海道大学教養部において第 90 回講演大会開会式に引続いて行なわれます。

浅田賞

「ウォーキングビーム型連続加熱炉による鋼片加熱技術の向上」

中外炉工業株式会社取締役工業炉事業部長 三好一郎君

「圧延機設計、製作技術の国産化および近代化」

石川島播磨重工業株式会社海外事業本部副本部長 横手義胤君

鉄鋼基礎共同研究会

遅れ破壊部会シンポジウム

遅れ破壊の機構

主催 鉄鋼基礎共同研究会遅れ破壊部会（日本学術振興会・日本金属学会・日本鉄鋼協会）
 日時 昭和 50 年 11 月 27 日（木） 9:30～17:00
 会場 農協ビル 8 F 第 2 大会議室 東京都千代田区大手町 1-8-3 TEL (03)-279-0311

プログラム

- | | | |
|-----------------|------------------------|----------------------|
| (1) 9:30～10:00 | 挨拶および遅れ破壊部会経過報告 | 阪大基工 藤田 英一(部会長) |
| (2) 10:00～11:15 | 電子論的、原子論的観点から見た遅れ破壊 | 東大工 堂山 昌男 |
| (3) 11:15～12:30 | 水素を吸蔵した単結晶の変形と破壊 | 国鉄技研 松山 晋作 |
| (4) 13:30～14:45 | 遅れ破壊における破壊力学・フラクトグラフィー | 神鋼中研 酒井 忠迪 |
| (5) 14:45～16:00 | 水素脆性における炭化物の役割 | 東工大 中村 正久・都立大工 坂本 庸晃 |
| (6) 16:00～17:00 | パネルディスカッション | |

テキスト 過去 5 年間における部会活動の最終報告書「遅れ破壊の機構について」約 300 頁
 予価 3,000 円（送料本会負担）

参加費無料（事前の申込みは必要ありません）

お問合せ先及びテキスト申込み先

日本鉄鋼協会 技術部 古米 正 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階
 TEL (03)-279-6021 (代)

「鉄と鋼」特集号原稿募集のお知らせ

テーマ：大型鋼塊の製造と加工

近年、扁平鋼塊、管条用鋼塊、ESR 鋼塊、鍛鋼用鋼塊いずれにおいてもいちじるしい大型化が進められております。大型鋼塊の品質、加工、熱処理などの諸問題に関する技術の発展の過程の全貌が明らかにされ、つぎの発展への基礎を提供することを目的として特集号を刊行いたします。関連ある論文、技術報告のご投稿をお願いいたします。

記

1. 原稿締切日：昭和 51 年 2 月 16 日（月）
2. 原稿枚数：（論文）・本会所定原稿用紙（450 字詰）図、表、写真を含め 50 枚以内（刷り上り 10 頁以内）。
 （技術報告）・本会所定原稿用紙 図、表、写真を含め 35 枚以内（刷り上り 7 頁以内）。
3. 発行：鉄と鋼 第 62 年第 13 号（昭和 51 年 11 月号）
4. 原稿送付先：100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館 3 階
 日本鉄鋼協会編集課（電 03-279-6021）
 （投稿に当たっては、原稿表紙に「鉄と鋼」特集号と朱書き下さるようお願いいたします）

日本鉄鋼協会北陸支部
学術講演会（研究発表）講演募集

日本鉄鋼協会北陸支部は、金属学会と共催で下記により学術講演会（研究発表）を開催することになりましたので、多数お申込下さいませようご案内いたします。

期 日：昭和50年12月11日（木）、[12日（金）見学会]

場 所：金沢大学工学部 秀峰会館

（金沢市小立野2丁目 40-20）

応募要領 官製はがきに講演題目、氏名（出講者に○印）、勤務先、通信先およびスライドの要不要をご記入の上下記宛お申込み下さい。なお、講演申込み者には折返しオフセット原稿用紙をお送りします。

申込締切日 10月11日（土）

原稿締切日 11月11日（火）

申 込 先 (933) 富山県高岡市向野本町 300

日本曹達（株）高岡工場内

日本鉄鋼協会北陸支部

（電話 0766-23-2001）

特別講演会、懇親会、見学会

当日は、特別講演会ならびに懇親会を開催し、翌12日には見学会を行います。参加ご希望の方は、氏名、勤務先、通信先を明記の上、前記支部宛お申込み下さい。

懇 親 会：金沢大学工学部 秀峰会館

会費 1,500 円

見 学 会：（株）小松製作所、他1社又は2社

会費 1,000 円

申込締切日：12月3日（水）

日本鉄鋼協会中国四国支部
学術講演会開催ご案内

当支部では、毎秋学術講演会を開催しておりますが、今年度はこの講演会を山口県光市で下記要領により開催することにいたしました。

つきましては、ご関係者多数ご出席下さいませようご案内申し上げます。

なお、準備の都合などもございますので、聴講ご希望の方は所定の申込書により10月8日までに当支部宛お申込み下さい。

記

日 時：昭和50年10月17日（金） 10:00～15:00

場 所：山口県光市大字島田

新日本製鉄・光一研修センター

☆ 演題と講師 ☆

1. 介在物の生成と製品の品質におよぼす影響
日本鋼管・技術研究所 主任部員

工博 宮下 芳雄君

—講演内容—

介在物として酸化物および硫化物を主体にとりあげ、製品の品質の劣化の原因となるのはどのような介在物であるかを例示し、介在物の生成機構とその軽減のための努力について説明する。

2. ステンレス鋼の球境によるぜい化

九州大学工学部教授 工博 大谷南海男君

—講演内容—

内容を応力腐食割れ、水素ぜい化と腐食疲労に限って従来の研究結果から得られるそれぞれの現象の特徴と発生機構のあらましを紹介するとともに、今後検討をすべき問題点を述べる。

.....切.....取.....線.....

「鉄鋼及び原材料の原子吸光分析講習会」申 込 書

東、北、大 No.

申 込 者 名 (複数の場合は全員氏 名をご記入下さい)	
連絡者名、勤務先 住所	〒 (電) - - 内線
領収書、参加券 送付先 (上記欄に異なる場合)	〒 (電) - - 内線
送 金 方 法 (○で囲って下さい)	1. 現金書留, 2. 郵便振替, 3. 銀行振込 _____ 銀行
送 金 額	円 × 名 計 円
受 講 地 区 (○で囲って下さい)	1. 東京地区 2. 北九州地区 3. 大阪地区

日本鉄鋼協会東北支部

昭和 50 年度湯川記念講演会案内

日 時 昭和 50 年 10 月 14 日(火) 14:00~

場 所 東北大学工学部金属系講義室

講 演

- 1) 題目 高温還元ガスによる直接製鉄
講師 東京大学工学部教授 松下 幸雄君
- 2) 題目 鋼の強靱性
講師 東京工業大学名誉教授 田中 実君

第22回 腐食防食討論会開催案内

会 期 昭和50年10月16日(木)~18日(土)

会 場 京都会館(京都 岡崎公園)

共 催 日本鉄鋼協会, ほか 25 団体

参加予約線切 10月6日(ただし9月20日までに申込
れた方には論文集を討論会までにお送り
します)

登録料等 登録料(論文集を含む) 予 約 5,000 円
予 約 外 8,000 円
論文集購(読送料を含む) 予 約 4,000 円
予 約 外 5,000 円

懇親会 5,000 円

申込方法 代金を添えて, 第22回腐食防食討論会事務局
(606 京都市左京区吉田泉殿町 1-101 日本
材料学会気付)へ郵便でお申込み下さい。な
お事務局に所定の用紙がありますので20円切
手同封の上御請求下さい。

プ ロ グ ラ ム

(第1日) 10月16日(木) 午前

- 9:40 主題1 腐食防食における教育と R & D
座長 栄 幸雄・副座長 駒井謙治郎
- 9:40 主題説明 (三菱重工) 栄 幸雄
- 9:50 (11)* 内外における腐食教育の動向と
今後のあり方(都立大工) 田島 栄
- 10:10 (12)* オハイオ州立大学における腐食
防食の教育(住金中研) 小林 大機
- 10:30 (13)* 企業における Corrosion Engineer の
立場と教育(三菱重H) 栄 幸雄
- 10:55 Panel

- (11 P) 日本材料学会腐食教育小委員
会の活動とその問題点
(山崎精機) 山崎正八郎
- (12 P) 大学での教育, 研究の体制
(京大工) 吉沢 四郎
- (13 P) 国立研究機関の役割
(金材技研) 小林 豊治

(第1日) 10月16日(木) 午後

- 1:00 主題2 装置工業における腐食防食
座長 森 稔・副座長 鈴木 隆
- 1:00 (21)* 石油工業における腐食事例と対策
(興亜石油) 岡村 興義
- 1:40 (22) 化学装置における腐食事例
(三菱化工機) 西村 真幸

- 2:00 (23) $\text{SO}_2\text{-H}_2\text{O}$ 系でのステンレス鋼の活性-
不動態化挙動と応力腐食割れ現象につい
て (住友化学) 三木 正義, ほか
- 2:20 (24) タービン軸冷水系給の腐食と防食
(東芝タービン) 奥村 実, ほか
- 2:40 (25) 電気防食用フェライト電極の特性
(東京電化) 牧野 元彦, ほか
- 3:10 (26) 濃厚水酸化カリウム溶液中における
18-8 系ステンレス鋼の耐食性
(富士電機) 小林 喬, ほか
- 3:30 (27) 一酸化窒素による金属の酸化
(山口大工) 高須芳雄, ほか
- 3:50 (28) 軟鋼の腐食に対する溶存酸素の影響
(東芝総研) 松平 光男, ほか

4:10 総合討論

6:00 懇親会(会場) 都ホテル

After Dinner Talk 「柿右衛門の赤」

(京大化研) 高田 利夫

(第2日) 10月17日(金) 午前

- 9:00 主題3 エネルギー開発と腐食防食
座長 吉沢 四郎・副座長 端野 朝康
竹原善一郎
- 9:00 主題説明 (京大工) 吉沢 四郎
- 9:10 (31)* 原子力工業における材料の問題点
(原 研) 野村 末雄
- 9:30 (32) ヘリウム冷却炉用材料の腐食
(原 研) 新藤 雅美, ほか
- 9:50 (33) オーステナイトステンレス鋼の交番
応力下の亀裂伝播におよぼす高温水
腐食環境の影響
(原 研) 中島 甫, ほか
- 10:10 Panel 「原子力開発と材料に関する問題点」
(31 P) 腐食環境として原子炉
(北大工) 諸住 高
- (32 P) 原子炉材料の腐食と強度
(原 研) 近藤 達男
- (33 P) 高速増殖炉(LMFBR)
材料の腐食について
(三菱原子力) 中島 宣雄
- (34 P) 高速増殖炉用材料の液体 Na
中の挙動と機械的性質
(神鋼中研) 太田 定雄
- (35 P) 軽水炉材料の耐食性
(関西電力) 奈木野陽一
- 11:00 (34)* エネルギー開発と材料の腐食
(新日鉄) 岡田 秀弥
- 11:20 (35) 各種線機の暴露試験結果と考察
(藤倉電線) 安岡 健, ほか
- 11:40 Panel 「エネルギー開発と材料の腐食」
(36 P) 水素エネルギーシステムの
開発と腐食 (大工試) 三宅 義造
- (37 P) 地熱発電と腐食問題
(住友金属) 小若 正倫
- (38 P) 地熱発電プラント, 太陽熱
発電などにおける構成材料の腐食課題

(三菱重工) 栄 幸雄
(39P) 地熱エネルギー開発における
腐食問題 (九工試) 斉藤 明夫

(第2日) 10月17日(金) 午後

1:30 主題4 海洋開発と腐食防食

座長 小若 正倫・副座長

1:30 主題説明 (住友金属) 小若 正倫

1:40 (41) 多段フラッシュ装置用伝熱管材料に
関する試験結果と評価

(東工試) 梅野 秀夫

2:10 (42) 人工海水中における軟鋼と銅の腐食に
対する硫酸塩還元菌の影響

(東工試) 佐々木英次, ほか

2:30 (43) 大陸棚深部における鋼材の腐食について
(住金中研) 本多 洋三, ほか

2:50 (44) ステンレス鋼の耐海水性
(住金中研) 長野 博夫, ほか

3:20 (45) 厚板鋼材の防錆塗装について
(新日鉄) 小又清司, ほか

3:40 (46) 大陸棚海底石油掘削プラットフォームに
対する電気防食の適用例について

(中川防蝕) 小坂 隆, ほか

4:00 (47) 吊下げ下陽極設置方式による船舶バラスト
タンクの電気防食

(中川防蝕) 木村 朝夫, ほか

4:20 (48) 船舶プロペラ防食用ボンネット陽極とそ
の効果 (神戸製鋼) 黒瀬 洋治, ほか

4:40 総合討論

(第3日) 10月18日(土) 午前

9:00 主題5 腐食科学と防食工学の長期課題

座長 木島 茂・副座長 山崎正八郎

9:00 主題説明 (近畿大工) 木島 茂

9:10 (51)* 腐食学の未来像

(東京理大) 岡本 剛

9:30 (52)* これからの腐食学への注文

(京大工) 吉沢 四郎

9:50 討論

10:00 Panel

(51P) 耐食材料研究分野における長期
課題 (住金中研) 小若 正倫

(52P) 適材選定の分野における長期課
題一定量の腐食データ確立への道

(日本鋼管) 松島 巖

10:40 Panel

(53P) 電気防食分野における長期課題
(日本防蝕) 花田 政明

(54P) 環境処理の分野における長期課
題 (栗田工業) 鈴木 隆

1:20 Panel

(55P) 機電法の高度化対策における腐
食試験装置の役割

(山崎精機) 山崎正八郎

11:50 総合討論

(第3日) 10月18日(土) 午後

1:00 主題6 局部腐食の研究手法

座長 林 忠夫・副座長 佐藤 教男

1:00 (61) 孔食発生誘導時間について

(北大工) 佐藤 教男

1:20 (62) 多点式孔食試験装置による孔食現象の給
計的性質の研究

(北大工) 柴田 俊夫, ほか

1:40 (63) 孔食腐食に対する電流ノイズ解析法の適
用 (東京理大) 橋 孝二, ほか

2:00 総括討論

2:40 (64) 各種ステンレス鋼のすきま腐食の評価方
法 (味の素) 鈴木 紹夫, ほか

3:00 (65) ステンレス鋼の隙間腐食に対する合金元
素の影響 (新日鉄) 小川 洋之

3:20 (66) 水素脆性試験法に対する一提案
(京大工) 松本 桂一, ほか

3:40 (67) ステンレス鋼などのき裂成長への破壊力
学の適用の難易について

(東大生研) 北川 英夫, ほか

4:00 総合討論

(注)* keynote

P Panelist (10分以内)

第19回材料研究連合講演会

主催 日本学術会議材料研究連絡委員会

共催 日本機械学会(幹事学会), 日本鉄鋼協会ほか

別印刷の詳細次第書がありますのでご希望の方はが
きて下記日本機械学会(幹事学会)あてご請求ください,

・日時 昭和50年10月7日(火) 9:20~

8日(水) 9:20~

・会場 日本学術会議(東京都港区六本木7-22-34)

・次第 1日目[10月7日] 研究発表(56題)特別講演
シンポジウム

2日目[10月8日] 研究発表(66題)

1) 研究発表は, I. 微視的構造, II. 材料の力学的
性質と挙動, III. 材料の物理的性質, IV. 材料の
化学的性質, V. 構造物強度, VI. 材料の製造・
加工と処理, VII. その他

2) シンポジウム「環境強度(腐食を含む)」合計7題

3) 特別講演(10月7日 13:00~14:00)

司会: 第19回材料研究連合講演会実行委員会

委員長 鶴戸口英喜君(東京大学教授工学部)

題目講師

「応力腐食割れについて」

東京大学教授工学部 工博 久松敬弘君

4) あいさつおよび「材料研究連絡委員会の現状」

日本学術会議材料研究連絡委員会委員長

横堀武夫君(東北大学教授工学部)

・講演前刷集予約申込: 講演前刷集(全講演129題集録)
を予約頒布いたします。印刷部数に制限がありますの
で, 9月30日(火)までに代金を添えて下記へお申込み
ください。

・予約特価 1冊 3000円(締切後は1冊 3500円),
いずれも送料含む。予約制を建前としておりますので
期日までにお申込みください。

- ・申込方法 B 6 判(会誌半裁)の用紙に「第19回材料研究連合講演会前刷集申込み」と題記し、①購入冊数、②冊数分の代金(送金額)、③送付先ならびに電話番号[勤務先の場合は所属部課(科)名まで詳細に記入のこと]、④氏名を明記のうえ代金を添えて9月30日(火)までに着金するよう下記日本機械学会(幹事学会)あてお申込みください。

- ・講演前刷集申込先・別冊次第書請求先

日本機械学会

〒151 渋谷区代々木 2-4-9

(三信北星ビル5階)

電話 (03) 379-6781

振替貯金口座 東京 3-19018 番

「溶接構造物の信頼性に関する問題点」講習会

主催：社団法人 溶接学会 後援：通産省(予定)

協賛：(社)日本鉄鋼協会、ほか

1. 題目及講師

第1日

9:20 溶接構造物の信頼性に関する基本概念

渡辺 正紀(北九州)

木原 博(東京)

11:00 溶接部の冶金的性質と諸欠陥 稲垣 道夫

13:30 溶接部の力学的性質と諸欠陥 佐藤 邦彦

15:10 溶接構造物の信頼性向上のための技術管理

西尾 安弘

第2日

9:20 検査技術 仙田 富男

11:00 溶接構造物のぜい性破壊事故と非破壊検査

小倉 信和

13:30 溶接構造物の信頼性向上の実例(2例)

妹島 五彦・成田 園郎

15:40 映画(破壊実験等)

2. 会 期

北九州会場 昭和50年10月23日(木)、24日(金)

東京会場 〃 11月13日(木)、14日(金)

3. 会 場

東京会場 土本学会図書館講堂

東京都新宿区四ツ谷1丁目 電話 03-351-5138

北九州会場 毎日西部会館

北九州市小倉北区紺屋町 13-1

電話 095-541-3031

4. 受 講 料

会員 20,000 円 非会員 25,000 円

・協賛学協会の会員は会員料金とします。

5. 受講申込

両会場とも定員(各100名になりなり次第締切らせていただきますので、所定の申込書に受講料を添えて早目にお申込ください。(電話でも仮受付いたします)

受講料払込銀行：東海銀行秋葉原支店

口座番号 666-808-850

振替貯金口座：東京 143434

6. そ の 他

- イ. 申込書の請求および問合せは下記へお願いいたします。

〒101 東京都千代田区神田佐久間町 1-11

社団法人溶接学会事務局 教育・出版係

電話 03-253-0488

- ロ. お申込を受付け(受講料受領後)ましたら受講券をお送りいたしますので当日受付にご提示いただきテキストを受領してください。

第26回国際純正応用化学連合化学会議 (26th IUPAC Congress) の日本開催についてご

案内

主催団体 日本学術会議(予定)

共催団体 日本化学会、日本薬学会、日本農芸化学会

後援団体 日本生化学会、日本分析化学会、高分子学会 予定

会 期 1977年9月4日(日)から10日(土)までの7日間

会 場 東京、赤坂地区、約20会場

会議日程 9月4日(日)午後 登録、夜 ミキサー

9月5日(月)午前 開会式 特別講演等

9月5日午後から10日午前まで 部会講演 シンポジウム、一般研究発表等

9月10日(土)午後 エクスカーション

会議用語 原則として英語(同時通訳なし)

発表申込 1977年3月31日線切

参加予定 約60カ国、約4,000名(うち海外約2,000名)

会議主題 今日の重要課題である「人類の福祉のための化学」を中心に、各研究分野を横断した合同シンポジウムのほか、物理化学、分析化学、有機化学、高分子化学の部会が開かれる。その仮主題名はつぎのとおり。

1. 合同シンポジウム「人類の福祉のための化学」

1a. 化学反応における選択性と特異性

(1) 選択的反応と特異的反応

(2) 合成化学・製造化学における選択性と特異性

(3) 選択性と特異性の解釈

1b. 相の界面ならびに多相系

(1) 液液界面、ミセルと液晶

(2) 膜—工業用、医学用、生化学用に重要な膜

(3) 固相界面における反応

1c. 生物活性物質

(1) 構造—活性の相関

(2) 生合成と代謝

(3) 作用機作

(4) 化学物質と生物

1d. 微量成分の分離と検出

(1) 環境科学系における試料(有用物質、汚染物質を含む)

(2) 生体に関する試料(農薬、医薬品を含む)

(3) 工業材料に関する試料

(4) 生物圏における物質の循環および移動への応用

1 e. 工業材料と資源・エネルギーの現代的視点

- (1) 新しい工業材料 (医学的应用を含む)
- (2) 食糧・飼料に対する化学の寄与
- (3) 新しいエネルギーと物質資源

2. 物理化学部会

- (1) レーザー光線の化学への応用
- (2) 励起種の構造と動的挙動
- (3) 新しい構造決定法
- (4) 異常原子価をもつ系の物理化学
- (5) 非定常状態における分子動力学

3. 分析化学部会

- (1) 物質のキャラクタリゼーションにおける方法論
- (2) 分析化学のシステム化 (コンピューターを用いる分析化学)
- (3) 配位化学の応用
- (4) 機器分析化学とくに原子吸光分析, 電気化学分析, クロマトグラフィー, 質量分析等

4. 有機化学部会

- (1) 構造と反応性との関係
- (2) 興味ある化合物の合成
- (3) 新しい数学的, 物理的手法による情報

5. 高分子化学部会

- (1) 高分子デザインとそのキャラクタリゼーション
- (2) 高分子系における励起状態
- (3) レオロジーと緩和過程
- (4) 生物学的に興味ある合成高分子
- (5) 高分子の構造, 組織構造とその性質

講演会お知らせ

主催: 日本鉱業会 (鉄・マンガン・ニッケル鉱石の事前処理の研究委員会) 日本鉄鋼協会

共催: セメント協会

日 時: 9 月 25 日 (木) 13:00~16:30

場 所: 日本鉱業協会役員会議室
中央区内幸町 1-3-6 新日比谷ビル 6 階
Tel. 502-7451

講 演: 「マンガンノジュールの湿式処理」
京都大学教授 工学部冶金学科 真嶋 宏君
「ペレットを用いたシャフト炉について」
東北大学選鉱製錬研究所教授 高橋 愛和君
「ペレットの凝塊機構とその性質」
北海道大学教授工学部金属工学科 吉井 周雄君

ESR 文献集の有償頒布について

鉄鋼基礎共同研究会「特殊精錬部会」の第 6 分科会は初年度の活動として, 第 1~第 5 分科会の今後の ESR 研究活動を円滑に実施するための参考資料, ならびに ESR に関係する研究者および現場技術者の作業指針を目的に, ESR が本格的に開発され始めた 1950 年代後半より 1973 年末迄の ESR に関する国際シンポジウム, 学協会誌および専門誌に発表された海外 (USSR を除く) および国内の論文資料を可能な限り収集し, ESR 文献集を編集してまいりました。

その文献件数は, 欧文 493 件, 邦文 140 件であります。内容は収集した文献, 資料のそれぞれに掲載してある図, 表, 写真を主体に分類整理し, 欧文および邦文別に文献集を編集したものです。

1. 価 格 2,000 円 (送料込)
2. 申込方法 書名, 部数, 送付先を明記のうえ代金を添えて, 現金書留にてお申込み下さい。
3. 申 込 先 100 東京都千代田区大手町経団連会館 3 階 日本鉄鋼協会技術部 (03-279-6021)

秋季講演大会宿泊・航空搭乗のご案内

秋季講演大会が10月1日(水)～3日(金)の3日間北海道大学において開催されますが、宿泊・航空割引搭乗のお世話を日本交通公社が取扱います。下記をご参照の上お申し込み下さい。

1. 宿 泊 ホ テ ル
- | | |
|----------------|------------------------|
| A シングル……¥ 5000 | 室料のみ
税サービス料は含まれません。 |
| B ツイン……¥ 8500 | |
| C シングル……¥ 2800 | |
| D ツイン……¥ 4800 | |
- ビジネスホテル

2. 航空割引のご案内

往 路			復 路			備 考
9月30日	581便	福岡 10:30～千歳 12:40	10月3日	68便	千歳 18:00～東京 19:30	大会終了日接続
〃	575便	大阪 12:30～〃 14:15	〃	710便	〃 18:50～名古屋 20:20	〃
〃	705便	名古屋 12:05～〃 13:35	〃	578便	〃 17:30～大阪 19:20	〃
〃	61便	東京 13:15～〃 14:40	10月4日	56便	〃 11:15～東京 12:45	大会終了翌日分
〃	63便	〃 14:40～〃 16:05	〃	572便	〃 11:40～大阪 13:30	〃
			〃	582便	〃 13:30～福岡 15:55	〃
			10月5日	64便	〃 15:30～東京 17:00	
			〃	776便	〃 16:20～大阪 18:10	
			10月7日	64便	〃 15:30～東京 17:00	
			〃	776便	〃 16:20～大阪 18:10	
区 間	普通運賃	割引運賃				
東京～札幌	18,200	16,400				
名古屋～札幌	23,400	21,060				
大阪～札幌	28,000	25,200				
福岡～札幌	37,700	33,900				

昭和50年6月のダイヤを基準としていますので大会時は時刻が若干変更することがあります。

3. 申 込 先 〒060 札幌市中央区北3条西3丁目 大同生命ビル内
日本交通公社団体旅行札幌支店 日本金属学会、日本鉄鋼協会係
T E L 011-231-6677-8

4. 申込方法 予納金を添えて下記由込書によりお申込下さい。

宿泊……1泊につき ¥2,000 予約取消が宿泊日の2週間前まででない
航空……1便につき ¥3,000 予納金はお返しできませんのでご注意ください。

5. 残額支払

宿泊……予納金との差額をホテル・フロントでご精算願います。

航空……9月10日までに残金をお送り下さい。

6. そ の 他 日本交通公社では大会終了後、道内旅行を希望される方のお世話をいたしますので申込時にご相談下さい。

日本鉄鋼協会宿泊航空券申込書

氏 名 (クーポン送付先)			連絡先			TEL			
			勤務先			TEL			
ふりがな	希望	宿 泊 月 日				予納金	航 空	予納金	合 計
氏 名	クラス	9/32	10/1	10/2	10/3	1泊¥2000	往 路	復 路	
	A B						／ 便	／ 便	
	C D						／ 便	／ 便	
	A B						／ 便	／ 便	
	C D						／ 便	／ 便	
通信欄 道内旅行資料の付：要・不要									